

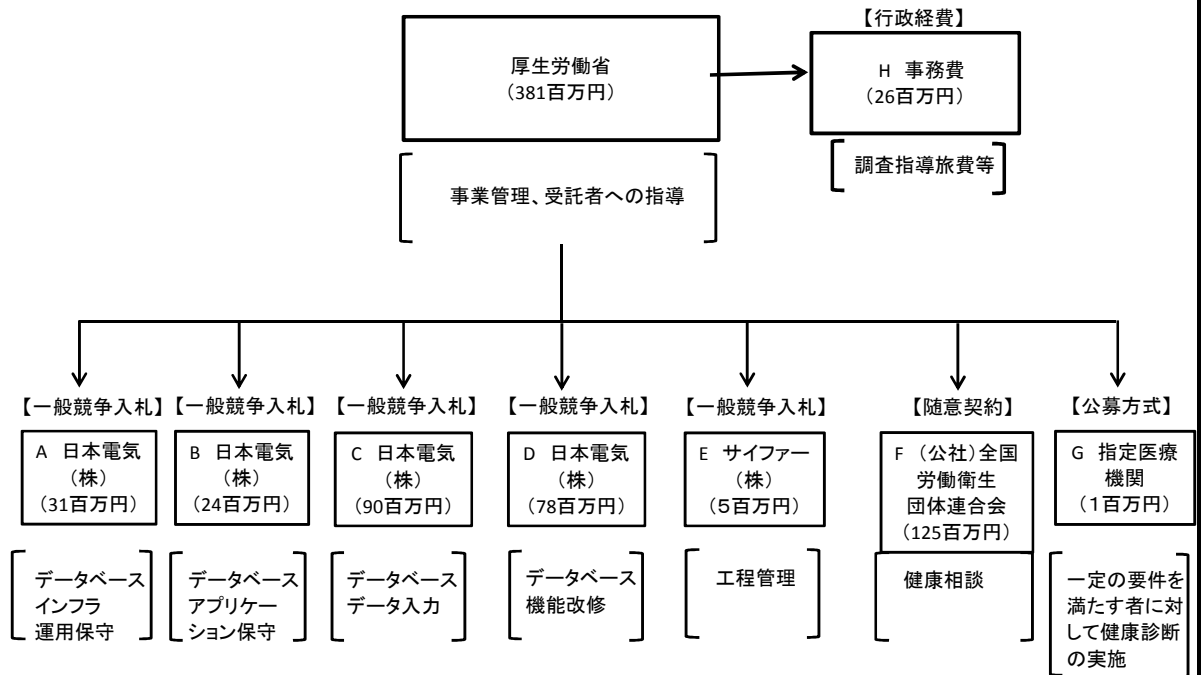
平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

平成27年度行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名	東電福島第一原発の緊急作業従事者に対する健康管理対策（行政経費を含む）				担当部局庁	労働基準局安全衛生部			作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし		担当課室	労働衛生課			泉陽子	
会計区分	労働保険特別会計労災勘定				政策・施策名	Ⅲ－2－1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること				
根拠法令（具体的な条項も記載）	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号				関係する計画、通知等	原子力被災者への対応に関する当面の取組方針（平成23年5月17日 原子力災害対策本部決定）				
主要政策・施策					主要経費	社会保障				
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	東電福島第一原子力発電所においては、これまで緊急作業に従事している労働者が被ばくする事故も発生しており、また、作業期間の長期化に伴い被ばく線量の増加による健康への影響が懸念されていることから、同原子力発電所における労働者の健康管理の強化に政府として全力を挙げて取り組む必要がある。本事業は、健康診断結果等の長期的管理、該当者への検診の実施等により、緊急作業従事者の健康確保が図られることを目的とする。									
事業概要（5行程度以内。別添可）	東電福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した労働者の被ばく線量、健康診断結果等のデータを蓄積する「東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システム」を構築するもの。また、緊急作業時の被ばく線量が一定以上の労働者を対象にがん検診等を実施する。									
実施方法	直接実施、委託・請負									
予算額・執行額 （単位：百万円）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	598	483	416	357	358			
		補正予算	－	－	－	－				
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－			
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－				
		予備費等	－	－	－	－				
		計	598	483	416	357	358			
	執行額		265	329	381					
	執行率（％）		44%	68%	92%					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 － 年度
	【平成24年度まで】 緊急作業に従事した労働者について、被ばく線量、健康診断結果をデータベースに入力し、当該労働者の長期的健康管理に資する		【平成24年度まで】 緊急作業に従事した労働者について、被ばく線量、健康診断結果をデータベースに入力し、当該労働者の長期的健康管理に資する。		成果実績	－	－	－	－	
					目標値	－	－	－	－	－
					達成度	％	－	－	－	
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	緊急作業において100ミリシーベルトを超えて被ばくした労働者全員に対する厚生労働大臣指針に基づくがん検診等を受診させる。		緊急作業において100ミリシーベルトを超えて被ばくした労働者のうち、厚生労働大臣指針に基づくがん検診等を受診した人数。		成果実績	人	－	174	158	
					目標値	人	－	186	174	174
					達成度	％	－	93.5%	90.8%	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標					単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	【平成24年度】 緊急作業に従事した労働者の被ばく線量、健康診断結果をデータベースに入力し、当該者約2万人に対しデータベースに登録された旨を証する書面を送付する。				活動実績	人	19,346	－	－	
					当初見込み	－	－	－	－	－
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標					単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	【平成25年度から】 ・緊急作業に従事した労働者について、健康診断結果及び被ばく線量について、データベースに入力を行う。 ・一定の被ばく線量を超えた労働者からの申請に基づき交付された手帳を所持する者全員に対し、直接又は事業者を通じてがん検診等の受診勧奨を行う。 ・緊急作業者の現況確認のため、調査票を送付する。 ・健康相談窓口の開設及びフリーダイヤルの設置を行い、健康相談を行う。				活動実績	件数	－	143,645	109,413	
					当初見込み	件数	－	139,021	44,918	－
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標					単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	【平成27年度から】 ・緊急作業に従事した労働者について、健康診断結果及び被ばく線量について、データベースに入力を行う。				活動実績	件数	－	－	－	
					当初見込み	件数	－	－	－	72,480

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
【平成27年度から】 ・一定の被ばく線量を超えた労働者からの申請に基づき交付された手帳を所持する者全員に対し、直接又は事業者を通じてがん検診等の受診勧奨を行う。				活動実績	件数	-	-	-	781
				当初見込み	件数	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
【平成27年度から】 ・緊急作業者の現況確認のため、調査票を送付する。 ・健康相談窓口の開設及びフリーダイヤルの設置を行い、健康相談を行う。				活動実績	件数	-	-	-	18,626
				当初見込み	件数	-	-	-	
単位当たりコスト		算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
X:「執行額」 Y:「アウトプット件数」		単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	円／件	13,698	2,290	3,482	3,885
				計算式	X / Y	265百万円 / 19,346人	329百万円 / 143,645人	381百万円 / 109,413人	357百万円 / 91,887人
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費 目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	7	7	東電福島第一原発作業員長期的健康管理システムの機器更改に伴う運用経費等の増。					
	社会復帰促進等旅費	1	1						
	庁費	25	14						
	情報処理業務庁費	223	237						
	労働災害防止対策事業委託費	101	99						
計	357	358							

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	原子力発電所事故収束のための緊急作業については、省令改正により被ばく限度を引き上げていたところであり、それらの作業に従事した作業員の健康管理を国自ら行うことは広く国民のニーズがあると考えられ、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	労働安全衛生法に基づき公示された「東京電力福島第一原子力発電所における緊急作業従事者等の健康の保持増進のための指針」において国が行う必要な援助が定められており、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	緊急作業に従事した労働者の健康管理は長期的、継続的に実施する必要があるが、原発事故収束作業に従事した労働者の安全と健康の確保という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	原則として一般競争入札により調達しており、競争性、妥当性は確保されている。(健康相談事業については不落随契によるもの)	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	「原子力被災者への対応に関する当面の取組方針」(平成23年5月17日原子力災害対策本部決定)において、「被ばく線量の管理、臨時の健康診断の徹底」、「作業届の提出による労働者の被ばく管理等の確認」及び「データベースの構築による健康管理」を掲げ、第一原発における労働者の健康管理の強化に政府として全力を挙げて取り組むこととなったところであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることから、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	緊急作業に従事した労働者の被ばく線量等のデータベース入力や手帳を所持する労働者を対象にしたがん検診等の受診勧奨業務等は一般競争入札により業者を決定するなど、効率的な業務執行を図っている。引き続き単位当たりコストの縮減・効率化に努める。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	委託費等は、真に必要な機器の購入や役務費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか			○	コスト削減及び業務効率化のため、平成27年度の調達において調達単位を一部見直した。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか			○	がん検診等の検査については平成25年度と同様に約90%前後の実施率を維持できており、成果目標に見合ったものとなっていると考える。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	当初予定していた登録証の発行、データの入力については適切に実施できている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	データベースは、今後蓄積される被ばく線量の入力業務や緊急作業従事者からの線量照会業務等に活用される。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-	
	所管府省・部局名		事業番号	事業名		
	-		-	-		
	-		-	-		
点検・改善結果	点検結果	がん検診等の検査については、90%以上の実施率を維持しており、概ね達成できている。また、手帳所持者に対するがん検診等の受診勧奨及び緊急作業従事者の現況確認については、対象者のほぼ全員に対し実施されており、データベースへのデータ入力についても予定通り進み、活動指標を上回っていることから、効果的に事業を実施していると考えられ、引き続き事業を実施することとしたい。				
	改善の方向性	緊急作業従事者の長期的健康管理を適切に行っていくため、健康診断結果、月ごとの被ばく線量等のデータ入力を含むデータベースの運用について適切に実施し、引き続き緊急作業従事者の適切な健康確保を図ることとする。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
通現 り 状	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	94、52	平成24年度	936	
平成25年度	380	平成26年度	385			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 日本電気(株)			E. サイファー(株)		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係るインフラ運用・保守業務	31	事業費	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係る工程管理業務	5
	計		31	計		5
	B. 日本電気(株)			F. (公社)全国労働衛生団体連合会		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係るアプリケーション保守業務	24	事業費	相談謝金、支部事務所借料等	107
				管理諸経費	本部事務所借料等	9
				消費税		9
	計		24	計		125
	C. 日本電気(株)			G. 指定医療機関		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係るデータ入力業務	90		※百万円未満のため記載せず。	
	計		90	計		0
	D. 日本電気(株)			H. 事務費		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係る機能改修業務	78	職員旅費	職員の出張に係る旅費	4
				社会復帰促進等旅費	健康診断等受診旅費	1
				庁費	役務・物品の購入等	21
	計		78	計		26

支出先上位10者リスト

A.					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係るインフラ運用・保守業務	31	1	99%
B					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係るアプリケーション保守業務	24	1	96%
C					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係るデータ入力業務	90	1	99%
D					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係る機能改修業務	78	2	90%
E					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サイファー(株)	東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムに係る工程管理業務	5	2	53%
F					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公社)全国労働衛生団体連合会	東電福島第一原発作業員のうち、離職者等に対し、健康相談等を実施	87	1	99%

G

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島労災病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0.3	随意契約 (公募)	—
2	新潟労災病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0.1	随意契約 (公募)	—
3	東京労災病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0.1	随意契約 (公募)	—
4	静岡済生会総合病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0.1	随意契約 (公募)	—
5	吉川中央総合病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0	随意契約 (公募)	—
6	住友病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0	随意契約 (公募)	—
7	行田総合病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0	随意契約 (公募)	—
8	横浜労災病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0	随意契約 (公募)	—
9	足利赤十字病院	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0	随意契約 (公募)	—
10	鹿児島県労働基準協会	東電福島第一原発作業員のうち、特定緊急作業従事者に対し、がん検診等を実施	0	随意契約 (公募)	—

H

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員旅費	職員の出張に係る旅費	4	—	—
2	社会復帰促進等旅費	健康診断等受診旅費	1	—	—
3	庁費	役務・物品の購入等	21	—	—